

第 10 回わたし☆まちフォーラム in いわて

すべての人が安心して暮らせる社会保障は可能か～分断を超えて～

全体集会・講演会

戦後の社会保障の歩みと教訓

講師：芝田 英昭さん

社会保障研究者・元立命館大学教授

日時：2026 年 2 月 14 日（土）10：00～11：50

場所：アイーナ 501 会議室 盛岡駅西口

全体集会は会場とリモートの併用で開催します

資料代 500 円 大学生以下は無料

プログラム

- ・全体集会・講演（10：00～11：50）
- ・分科会（13：15～15：30）アイーナ各室

共催：いわて労連 岩手医労連 岩手自治労連 盛岡市職労 岩手県消団連
岩手県生協連 岩手県農協労組 岩手民医連 いわて食・農ネット
いわて生協労組 岩手県私教連 盛岡地域労連 岩手県年金者組合 岩商連
岩手県社保協 岩手県医労 岩手県革新懇 復興岩手県民会議 岩手県生健会
新婦人岩手県本部 岩手県国公共闘 岩手県農民連 岩手県社会福祉労働組合
岩手県学童保育連絡協議会 岩手民教連 民青岩手県委員会
岩手県母親大会連絡会

後援：岩手県 盛岡市 滝沢市 八幡平市 岩手町 葛巻町 雫石町 矢巾町 紫波町
岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 八幡平市教育委員会 岩手町教育委員会
雫石町教育委員会 矢巾町教育委員会 紫波町教育委員会
朝日新聞盛岡総局 毎日新聞盛岡支局 読売新聞盛岡支局 共同通信社盛岡支局
日本経済新聞社盛岡支局 河北新報社 岩手日報社 デーリー東北新聞社
NHK盛岡放送局 IBC 岩手放送 テレビ岩手 岩手朝日テレビ
めんこいテレビ

※全体集会のオンライン参加希望者は下記URLかQRコードからご参加ください。

<https://us02web.zoom.us/j/88230572970?pwd=5AZ3pLp0zi8gRoBK3ID7aJfGMkUJbT.1>
ID:88230572970 パスコード: 890593

主催：NPO法人岩手地域総合研究所



略歴

博士（社会学）、元立命館大学教授、元立教大学教授、元立正大学教授など歴任。

主な著書

- ・『社会保障のあゆみと協同』
- ・『社会保障の基本原理と将来像』
- ・『歴史に学ぶ生命の尊重と人権』など多数。



分 科 会 アイーナ 会場 501A・501B・602・県大キャンパス学習室4

テーマ：すべての人が安心して暮らせる社会保障は可能か～分断を超えて～

<p>①第1分科会 (自治・まちづくり)</p> <p>会場：602議室 13:15～15:30</p>	<p>・コーディネーター 井上博夫さん(元岩手大学)</p> <p>分科会テーマ「利便性の高い地域公共交通とは？」 住み続けられる地域であるために不可欠な要素、その一つは「足」があること。しかし、人口減少と車依存により鉄道・バス路線の廃止・減便で益々不便になってきたのが実態。そんな中、地域公共交通計画の作成は地方公共団体の努力義務と定められたこともあり、今、各地で多様な取組が始まっています。それらを持ち寄り、便利な公共交通を考えます。</p> <p>報告：①「山田線及び沿線地域を盛り上げる活動について」(仮) 岩手大学ローカル線振興委員会 ②「奥州市ハートバス運行の取り組みについて」(仮) 奥州市公共交通対策室 菊池直人さん ③「盛岡都市圏地域公共交通計画について」(仮) 盛岡市交通政策課 高橋龍馬さん</p>
<p>②第2分科会 (産業・労働)</p> <p>会場：501A会議室 13:15～15:30</p>	<p>・コーディネーター 杭田俊之さん(岩手大学)</p> <p>分科会テーマ 「産業と労働の分野から見た社会保障」 すべての人の暮らしの安心を支えるはずの社会保障制度は、少子高齢化の進展と地域経済の疲弊のなかその充足の度合いと持続可能性に課題が山積しています。分科会では、岩手県の地域医療政策を踏まえた医療職場の現況に理解を深めるとともに、非正規労働者や中小農家の実情と社会保障の現状について報告いただき、産業や労働の視点から、地域での取り組みを探るべく検討を行ないます。</p> <p>報告：①「岩手県保健医療計画の概要と医療職場の状況について」五十嵐 久美子さん 岩手県医療労働組合連合会委員長 ②「非正規労働者の状況と社会保障」高橋 基 さん いわて生協労働組合委員長 ③「中小農家の実態と社会保障」岡田 現三さん 岩手県農民連 事務局長</p>
<p>③第3分科会 (くらし・保健・福祉)</p> <p>会場：501B研修室 13:15～15:30</p>	<p>・コーディネーター 細田重憲さん(元岩手県立大学)</p> <p>分科会テーマ 「さまざまな人たちの生きづらさ、くらしづらさ」 福祉サービスを必要とするさまざまな人たちが感じている生きづらさやくらしづらさについて、サービス制度や政策の問題、行政や関係者との関わり方、家族との関係、当事者としての意識、社会にあるいくつものバリアー(壁)の状況、などの視点から考え、認識と活動の方向性の共有を目指します。</p> <p>報告：①「いのちのとりで裁判と生活保護問題」川口義浩さん 生活と健康を守る会 ②「訪問介護報酬の引き下げ反対の取り組みと介護3大改悪の動向」高橋貴志子さん 岩手県社会保障推進協議会 ③「当事者家族として私が感じている生きづらさ、くらしづらさ」(仮) 当該家族の方</p>
<p>④第4分科会 (子育て・教育)</p> <p>会場：7階 県大キャンパス学習室4 13:15～15:30</p>	<p>・コーディネーター 新妻二男さん(元岩手大学)</p> <p>分科会テーマ 「教育費無償化をめざして」 我が国の国家予算に占める教育費の割合はOECD加盟国の中で最下位層に位置しています。それは国が教育を公費教育主義ではなく「受益者負担主義」(私費負担)で賄おうとしてきた証です。本分科会では我が国の公費教育主義(教育費の無償化)の実態、そして今教育費無償化の具体化として期待されている義務教育学校の「給食費の無償化」と高校の「授業料無償化」を巡る動向や課題を参加者の皆様と共有し、公費教育主義の実現に向けた意見交流ができればと考えています</p> <p>分科会報告。 ①「教育費無償化の現段階」 山沢智樹さん(岩手県立大学准教授) ②「高校授業料無償化について」 八重樫 良さん(盛岡大学附属高校教諭) ③「給食費の無償化について」(仮) 比屋根 哲さん (学校給食費の無償化を求める岩手の会共同代表・岩手大学名誉教授)</p>

参 加 申 込 書

- 申し込み先 岩手地域総合研究所 020-0021 盛岡市中央通2-8-21
e-mail i-chiikisouken@salsa.ocn.ne.jp TEL (FAX) 019-624-6715
メールもしくはFAXでお願いします。(メールの場合は記載漏れのないように)
- 締め切り 2月6日(金)

氏 名	連絡先(電話番号)	所属団体・職業・住所等	参加分科会 番号を記載

※ オンライン視聴者で講演の資料が必要な方は、岩手地域総合研究所ホームページからダウンロードしてください。

※ この申し込み内容を参加者集約・連絡およびコロナ・インフル対策目的以外に使用することはありません。